

校報 米来だより

令和7年5月14日
真庭市立米来小学校
5月号



◆参観日・個人懇談ありがとうございました

立夏を迎えました。樹木の緑が勢いを増す新緑の季節です。子どもたちの半そで姿を見ながら夏のはじまりを感じています。夏のしるしを見つけてみるのも楽しいかもしれませんね。

4月25日の参観日には、多くの保護者の皆様、ご家族の皆様にお越しいただきありがとうございました。授業後のPTA総会（通学班ごとの顔合わせ）、学級懇談、評議員会・専門部会も大変お世話になりました。皆様の子どもたちへの温かい思いを改めて感じました。

翌週の個人懇談もありがとうございました。お家での様子もお聞かせいただきありがとうございます。PTA総会でもお伝えしましたが、今年度はそれぞれの学期で希望懇談を計画しています。お子様の成長に向かって、保護者の皆様としっかりつながっていかれたらと考えております。今後ともよろしく願いいたします。



◆新聞は「情報と知の宝庫」!

広報まにわ5月号の市長室からこんにちは!のページに、「情報と知の宝庫」の新聞を読む!と<新聞の役割の重要性>や<私を育ててくれた新聞>について書かれていました。

私事ですが、行政の仕事をしていた時、上司から「毎朝、新聞を読むことで、教育に関わる情報を得るだけでなく、県や地域の記事から学校教育につながることはないかを考えることも、仕事柄必要なことだ」と教わりました。その時から、私自身の毎朝の日課となっています。

今、とても楽しみにしている記事があります。それは、山陽新聞のちまた欄「一日一題」です。毎週木曜日を、岡山市の小児科医、国末景子先生が担当されています。

5月1日(木)は、「見えない準備」のお話でした。

- ・何かが「できるようになる」ことを、イメージしてみよう。子どもたちは「できるまでのステップ」を今、繰り返している。その最中なのだ。
- ・見る、知る、聞く。考える。自分事になる。意識する。内面で行われる、この「見えない準備」は、自分でも見えない。子どもの準備は、なおさら見えない。にもかかわらず、見える行動だけで、「できる、できない」と判断してしまいがちだ。
- ・「準備している最中かもしれない」と思えること。それが、子どもを見守ることにつながるのかもしれない。

私にとって新聞は、まさに「情報と知の宝庫」であり、とても身近な「学びの場」です。

◆ 6月の行事予定 ◆

- 4日(水) 読み聞かせ(低・高)
- 5日(木) 学級P活動(2年)
- 12日(木) 代表委員会
- 13日(金) 教育相談日
- 16日(月) エスパスコンサート
- 17日(火) 18日(水)
修学旅行(6年)
- 19日(木) クラブ
- 20日(金) 口座振替日
- 26日(木) 委員会
- 27日(金) 教育相談日

キラリ☆めきのこ



はじめての給食



ランチルームで給食



避難訓練



音読発表会



2年生と体育



1年生をおかえる会



縦割り班活動スタート!本格的に動き出した米来小学校のリーダーです!!

大好きがあり笑顔があつまる学校

